

令和4年5月10日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
戸田市立戸田第一小学校（外11校）	戸田市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
戸田市立戸田第一小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/toda1-e/202104-english-r02.html
戸田市立戸田第二小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/toda2-e/index.html
戸田市立新曽小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/niizo-e/gjhglijjjhffchj2022.html
戸田市立美谷本小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/miyamoto-e/miyamoto-e-tokubetsunokyokukatei.html
戸田市立笹目小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/sasame-e/tototototo.html
戸田市立戸田東小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/todahigasi-e/todahigasi-e-gakkounew-r4.html
戸田市立戸田南小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/todaminami-e/eigokatudou.html
戸田市立喜沢小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/kizawa-e/site-kizawa-e-kizawa-e-tokubetukyokukatei.html
戸田市立笹目東小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/sasamehigasi-e/english.html
戸田市立新曽北小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/niizokita-e/niizokita-e-english-r2.html
戸田市立美女木小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/bijyogi-e/bijyogi-e-hininnchi.html#pagetop
戸田市立芦原小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/asihara-e/asihara-e-ashihara-r2eigokatudo.html

必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
戸田市立戸田第一小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/toda1-e/202104-english-r02.html	https://www.toda-c.ed.jp/uploaded/attachment/16576.pdf
戸田市立戸田第二小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/toda2-e/index.html	https://www.toda-c.ed.jp/uploaded/attachment/16150.pdf
戸田市立新曽小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/niizo-	https://www.toda-c.ed.jp/uploaded/attachment/16208.pdf

	e/gjhgljjjhffchj2022.html	
戸田市立美谷本小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/miyamoto-e/miyamoto-e-tokubetsunokyokuikukatei.html	https://www.toda-c.ed.jp/site/miyamoto-e/miyamoto-e-tokubetsunokyokuikukatei.html
戸田市立笹目小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/sasame-e/totototo.html	https://www.toda-c.ed.jp/uploaded/attachment/16222.pdf
戸田市立戸田東小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/todahigasi-e/todahigasi-e-gakkounew-r4.html	https://www.toda-c.ed.jp/uploaded/attachment/16215.pdf
戸田市立戸田南小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/todaminami-e/eigokatudou.html	https://www.toda-c.ed.jp/uploaded/attachment/16432.pdf
戸田市立喜沢小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/kizawa-e/site-kizawa-e-kizawa-e-tokubetukyokuikukatei.html	https://www.toda-c.ed.jp/site/kizawa-e/site-kizawa-e-kizawa-e-tokubetukyokuikukatei.html
戸田市立笹目東小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/sasamehigasi-e/english.html	https://www.toda-c.ed.jp/site/sasamehigasi-e/english.html
戸田市立新普北小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/niizokita-e/niizokita-e-english-r2.html	https://www.toda-c.ed.jp/site/niizokita-e/niizokita-e-english-r2.html
戸田市立美女木小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/bijyogi-e/bijyogi-e-hininnchi.html#pagetop	https://www.toda-c.ed.jp/site/bijyogi-e/bijyogi-e-hyouka.html
戸田市立芦原小学校	https://www.toda-c.ed.jp/site/asihara-e/asihara-e-ashihara-r2eigokatudo.html	https://www.toda-c.ed.jp/site/asihara-e/asihara-e-ashihara-r2eigokatudo.html

必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

(1) で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択

した場合は、必ず記載する。

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善が進むよう、「英語教育指導用ルーブリック」を開発した。（英語教育ハンドブックやブックレットを作成・活用）
- ・コミュニケーション能力を高めるための年間指導計画（6学年分）を改訂した。
- ・CAN-DO リストについても新学習指導要領に即し改訂した。

（3）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

- ・各学校だより、ホームページや Facebook 等を活用して、外国語活動の様子を情報提供している。
- ・学校公開では外国語活動や外国語科の授業参観を公開している。
（オンライン公開を含む）
- ・保護者会や学校運営協議会でも英語教育の取組を紹介している。
- ・戸田市の広報紙や広報番組「ふれあいとだ」にも、英語教育の特集を組み、市民へ情報発信した。

4. 実施の効果及び課題

（1）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は「世界で活躍できるとだっ子の育成」を目指し、英語教育をとおして、グローバル力と異文化力を育成するため、コミュニケーション教育を推進するものである。実際、各小学校の意識調査結果から、「誰とでも主体的にコミュニケーションが図れている」、「英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことができている」という項目を選んだ児童が多く、目指している子供像に迫れている。また、外国語活動で意識している「4つのコミュニケーションルール」（アイコンタクト・クリアヴォイス・スマイル・グッドレスポンス）の効果が、人権意識の向上や豊かな心の育成に良い影響を与えている。

一方で、外国語活動の授業の進め方に不安を抱えている教師があり、ALTとの打ち合わせがうまくいかず、授業で児童の主体性を発揮できずにコミュニケーションの楽しさを伝えられないという課題もある。

（2）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本市では全小学校にALTを常駐配置しているため、児童は授業以外でもネイティブ・スピーカーの英語を体感し、実生活に近い状況での英語によるコミュニケーションを経験したり、異文化にふれたりしている。学年末にALTとのスピーキング実態調査を実施しているが、無反応の児童がほぼおらず、積極的にコミュニケーションを図れて

いた。外国語活動で慣れ親しんだ語彙や表現を活用して、CAN-DO リストに記載した学習到達目標も多くの児童が達成し、特例校の取組の効果が表れている。

一方で、コミュニケーション活動中における教師のフィードバックに課題があり、授業改善や児童の学習改善につなげる面が弱く、学年が上がるにつれて英語への関心が低くなるという課題もある。

5．課題の改善のための取組の方向性

4 に示すような課題を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図りながら、新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価を進めていくことが重要である。英語教育推進委員会を中心に、独自に作成したハンドブックやブックレットの周知を図りながら、コミュニケーション教育を推進していく。